

TV4U

個人放送局と今後の放送コンテンツ

NHK放送技術研究所

林正樹

情報サービス2種

さまざまなメディアが氾濫している

デジタル放送、BB, モバイル ...

■ TV 型サービス(放送)
受動的

■ Web 型サービス(通信)
能動的

ユーザーとメディアの関わり方という観点から
TVとWebを融合する

TVとWebの融合が目指す新しいメディア

- ・講義を聞く
- ・グループツアー

- ・手を上げて質問・対話
- ・プライベートツアー



“参加型授業”のようなメディアを作ろう

パーソナライズテレビTV4U (TV For You)

マイバラエティ

収集されたさまざまな情報を受け側(PC)で番組に作り変える

- ・個人的、内輪な情報についてのTVが見られる
- ・好みの情報だけをTVで見られる (Webの漫才化: 共同研究関連)

シームレスインタラクティブ

番組に割り込み、番組キャスター(CG)と直接対話できる

- ・番組キャスターを仲介にして受動と能動を接続
- ・番組に自然に参加できる (人を感じる美術館: 共同研究関連)

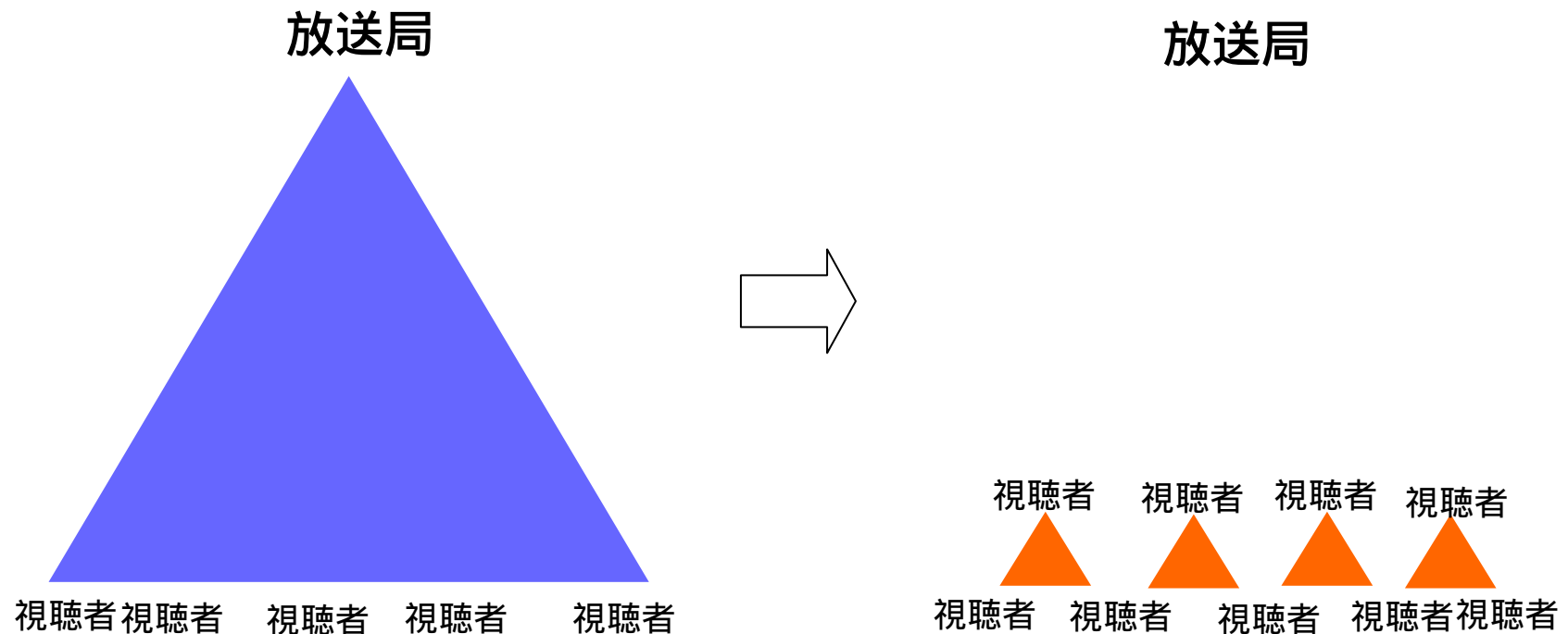
これからの放送コンテンツ

前提

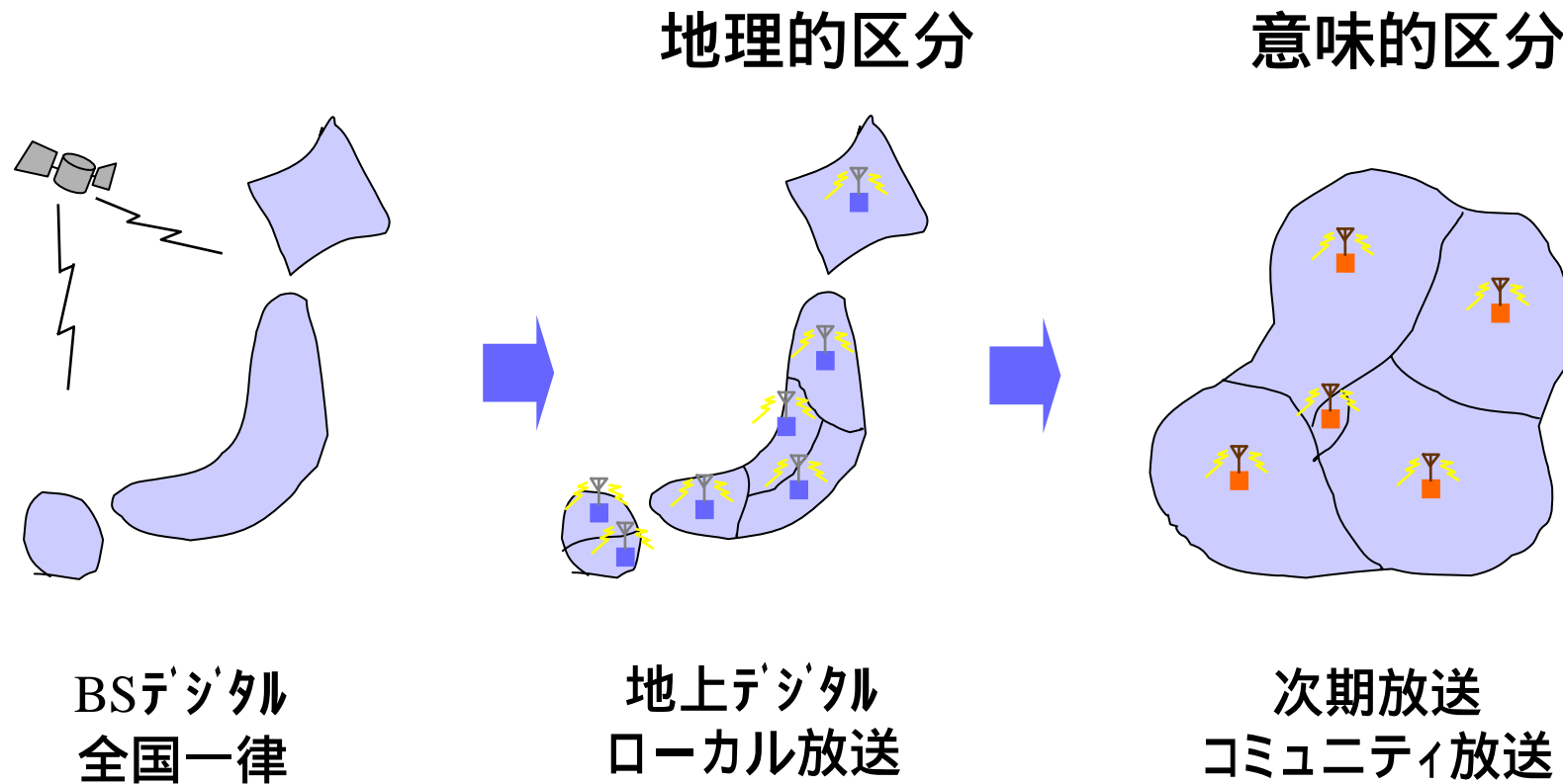
- ・ 作り手の意図をできるだけ多くの人に誤解なく伝える
- ・ 人を飽きさせない
- ・ 文化である

1) 放送文化は片手落ちでは？

受け手が作り手になり、作り手が受け手になる、そのときに初めて健全な文化が生まれるのではないか



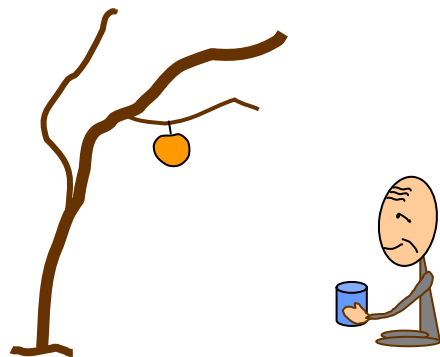
2) ローカル放送からコミュニティ放送へ



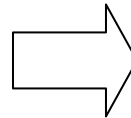
3) 高齢化社会におけるコンテンツのニーズ

- ・高齢者予備軍は実は趣味人が多いのではないか
- ・高齢化社会はグローバルな一律型よりコミュニティ的発散型ではないか

コミュニティの必要性

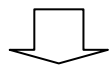


現在のイメージ



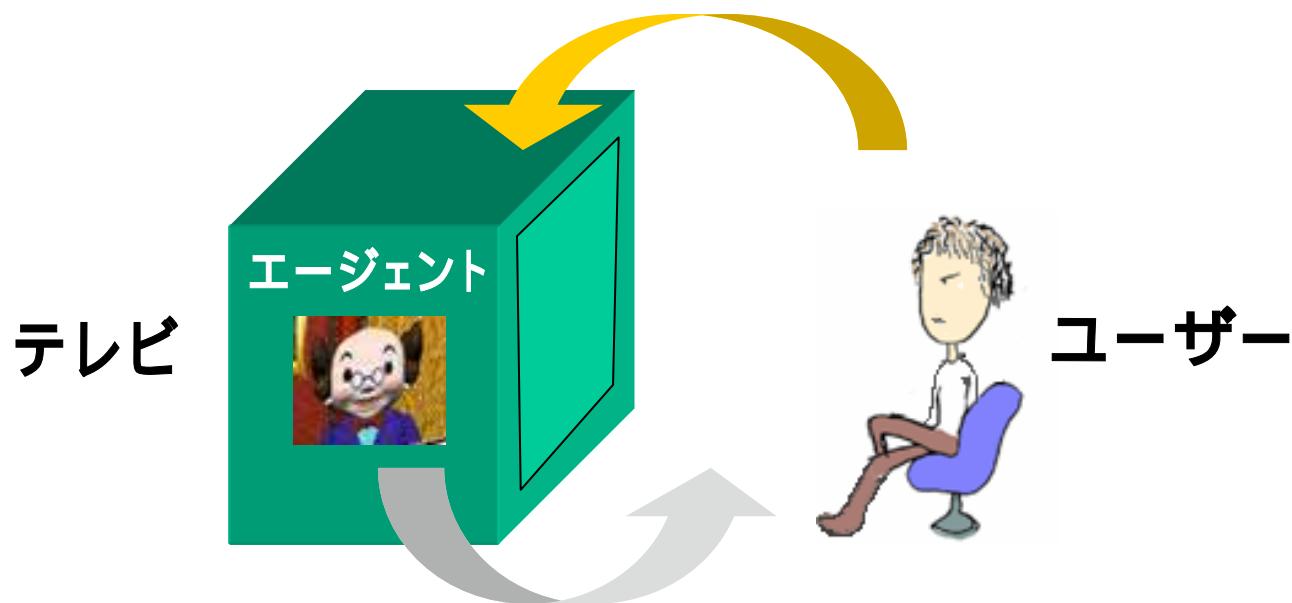
4) おせっかいエージェントから友達エージェントへ

おせっかいエージェントはいつもユーザーに対面して実世界に出ようとしている



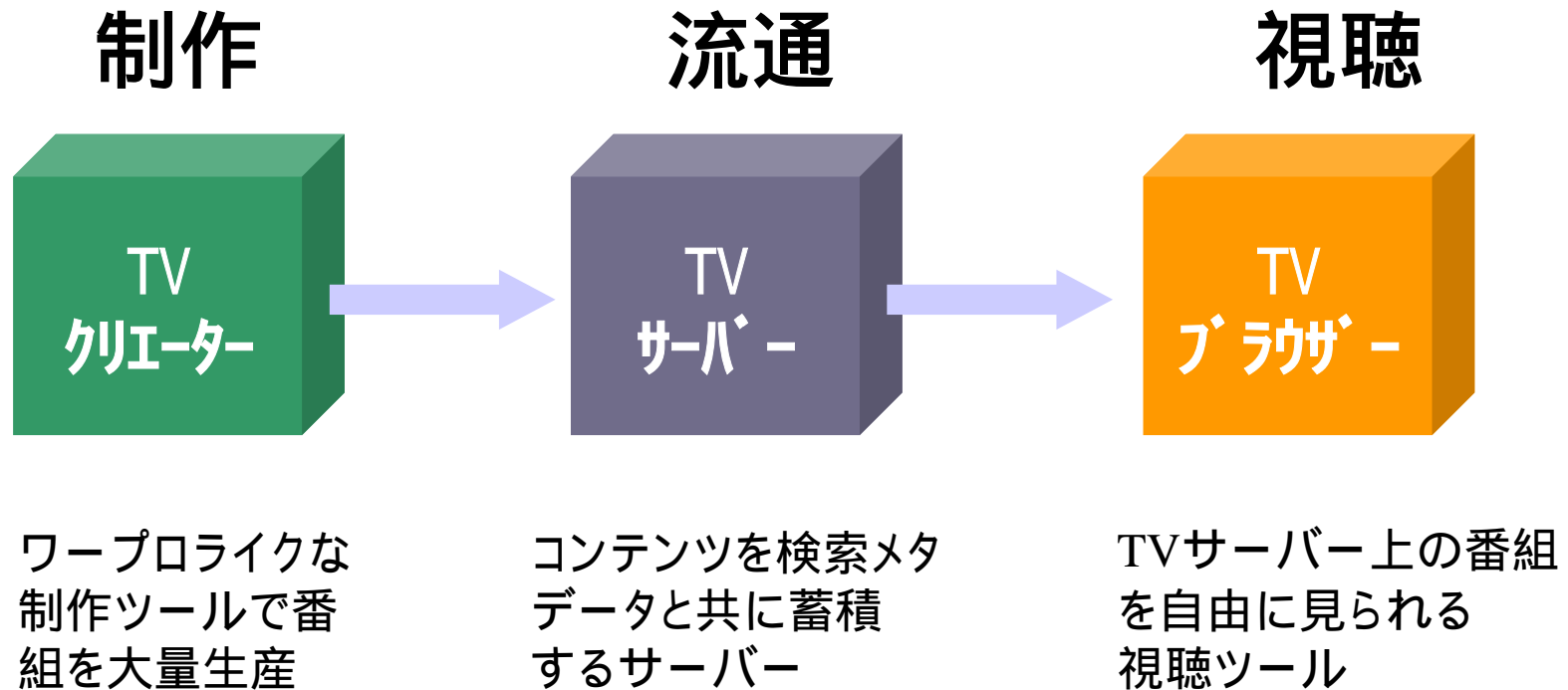
友達エージェントは自分の住む世界を持っている

ユーザーの方が自然と参加したくなる



ユーザーの顔をうかがっている

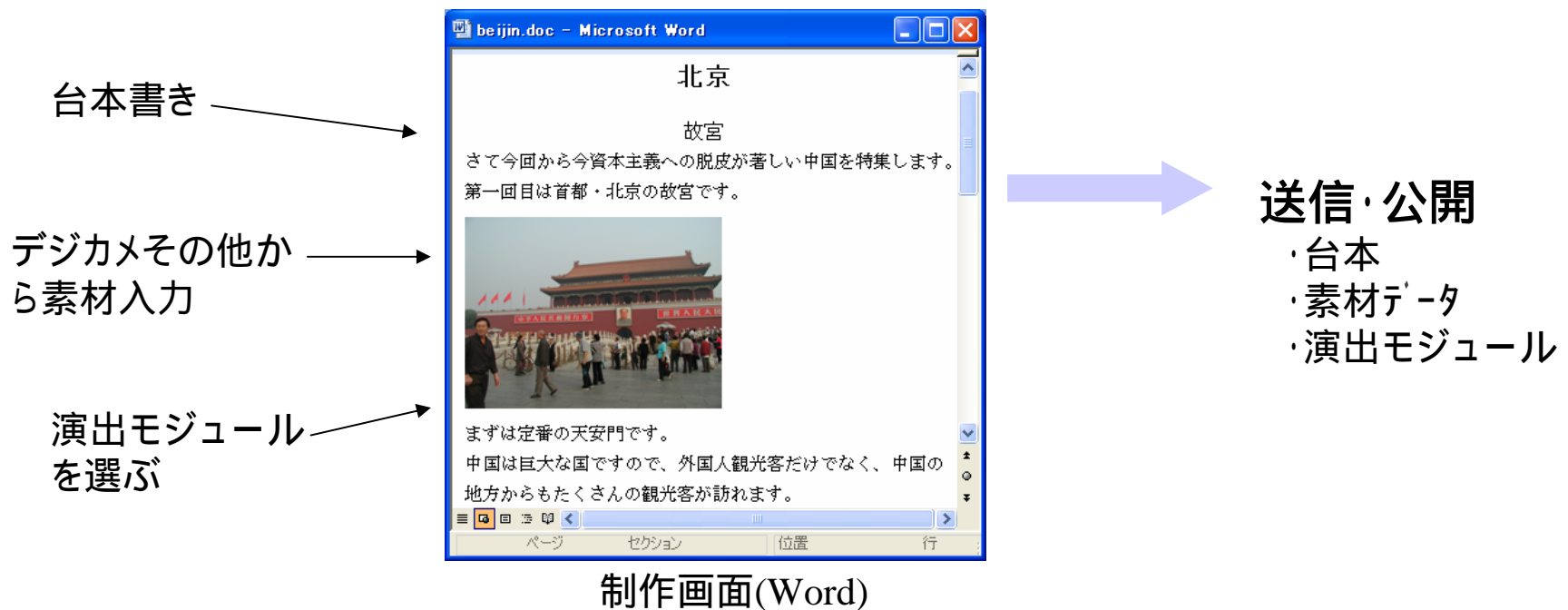
制作・流通・視聴をカバーするTV4U



■ 誰でもが簡単に制作し ■ ワンボタンで発信し ■ 誰でもが見られる

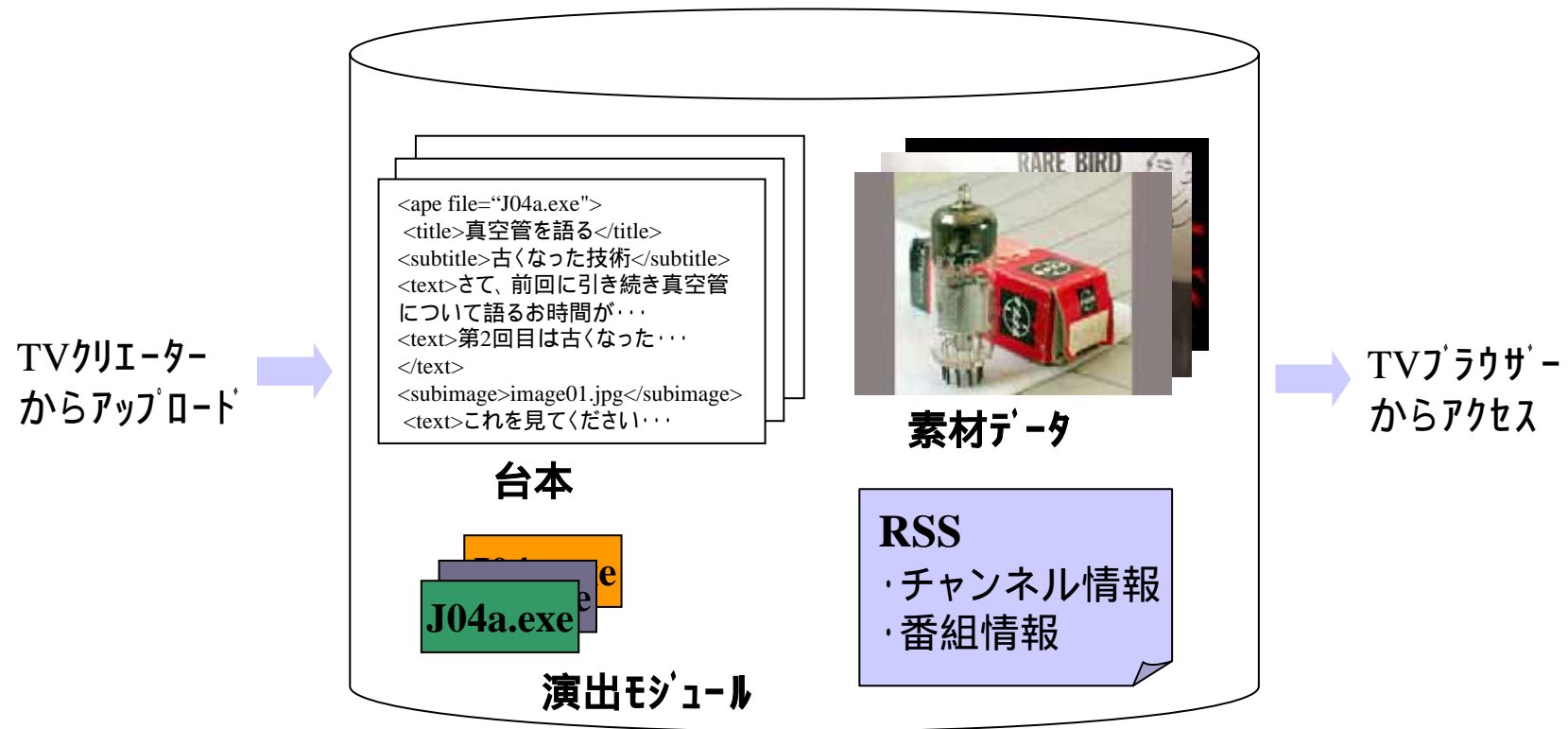
TVクリエイター

MS-Wordで番組が制作できる
ローカルでプレビュー後、ワンクリックでTVサーバーへ送信



TVサーバー

インターネット上のサーバー
RSS形式で内容を公開。TVブラウザが番組の選択・検索に利用



TVブラウザ

TVサーバーに接続して番組をザッピング視聴できる
番組に割り込み、キャスターと会話し番組検索ができる



おわりに

- TVとWebがひとつになった参加型授業のようなメディアを作ろう
- ユーザーが歩み寄れるエージェントを作ろう
- テレビを個人に開放しよう